

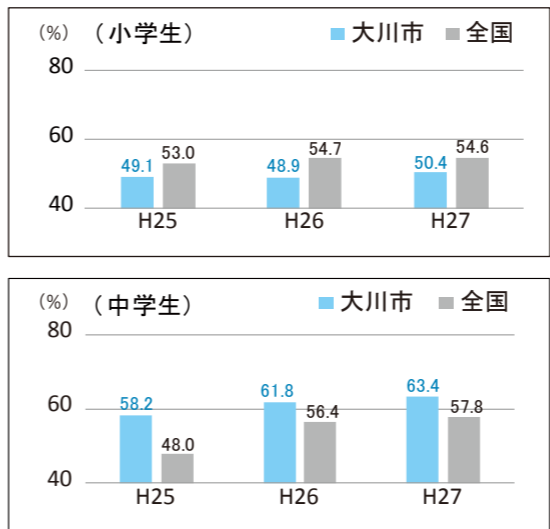
## 生活ルールの取り決め

中学校では、メールやゲームの使用時間が3時間以上で22・6%、1時間以上で63・4%にもなっています。小学校でもメールやゲームの使用時間が急に長くなっています。これらを長時間行うと、生活が乱れ睡眠不足や体調不良に陥ります。

また、携帯電話やスマートフォンは、使い次第で子どもを有害情報などの危険なサイトにさらすことになります。携帯電話やスマートフォンについては、フィルタリングの契約とともに、お子さんと使用時間などしっかり話し合っておくことが大切です。



平日1時間以上TVゲーム(携帯ゲーム)をしている割合



## 家庭でできること

### 早寝・早起きで朝ごはんを食べよう

子ども達の健やかな成長には、「よく身体を動かし、よく食べ、よく眠る」ということが必要不可欠です。これらの基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。また、朝起きや着替えなどの身の回りのことは自分で行うという自主的な生活態度を身に付けさせ、学習意欲や体力・気力向上につなげましょう。



おいしいご飯で会話も弾む

### 環境を整え、家庭学習の習慣を

家庭学習は学校での学習をしっかり身につけ、自ら学ぶ習慣をつけるために大切なものです。集中して学習する時間を確保し、学習しやすい環境を整えるなどで、家庭学習の習慣を身につけさせましょう。

## 読書の時間をつくろう

読書は脳を活性化させ、創造力や知識の量を増やし、また読解力もつくため、読書時間が長い子どもは、学力が向上し成績も伸びています。家庭で子どもを読書に向かわせる環境づくりを進めましょう。



図書館を利用することも効果的。定期的にイベントも開催しています。

### 学校と家庭との連携を図ろう

家庭は、基本的な生活習慣や人に対する思いやり、善悪の判断など、社会生活を営むための基本的なルールやマナーを身につける重要な役割を担っています。

学校は、それらを基に日常の集団生活を通してルールを守ることの必要性を理解し実践する場所です。学校だよりや学級だよりなどの情報をしっかり受け止め、学校との連絡を密に取り合い、連携を深めましょう。

## 学校での取組み

### 【すぐに取り組むこと】全国学力・学習状況調査の分析とその活用

調査の結果を分析し、課題と今後の改善策を明らかにすることにより、各学校における教育活動の改善に役立てます。また、教材集(県教育委員会が作成)と調査問題の過去問題を、日常の授業や算数・数学強化講座(夏季休業中)などでの繰り返し学習や補充学習に活用します。さらに、これらの取組みにより、子ども達が学力を身に付けているかどうかをチェックし、追指導に生かすために、診断テスト(県教育委員会が作成)を実施します。



### 【時間をかけて取り組むこと】授業改善

全教職員が公開授業を積極的に行います。また、その後の検討会ではお互いの授業を検証し合い、工夫改善を重ね、授業力の向上に努めます。

### 指導方法の工夫・改善

習熟の程度や課題に応じた少人数指導やチームティーチングを積極的に取り入れるなど、子ども一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導の実施に努めます。

## 個別学習や補充学習の充実

授業時間だけでは学習内容が十分に理解できない子どもや、間違っただけで覚えている子どもなどが少なくありません。そこで、これらの子ども達のために、放課後や長期休業中に個別学習・補充学習の充実などに努めます。

### 保幼小中学校連携教育の推進

各中学校区で、保幼小中学校連携教育を推進し、指導内容・方法などの円滑な連携を通して、指導の段差をなくし「生きる力」(知・徳・体)を育成していきます。

### 学校・家庭・地域の連携教育の推進

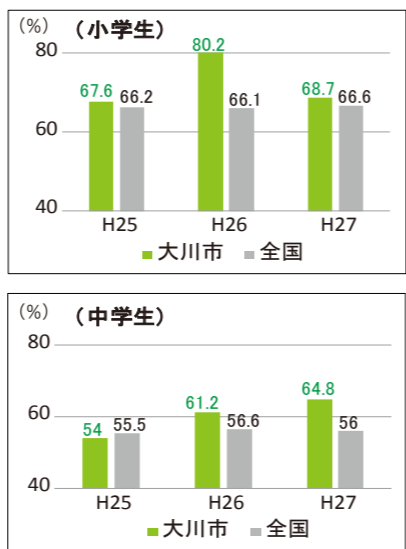
家庭での生活習慣や学習習慣づくりに、学校も積極的に関わります。「大川市生活習慣・家庭学習のすすめ」を活用した取り組みや大川市教育力向上推進委員会の「きちんと身に付けよう!生活・学習習慣チェックカード」の取組みなど、家庭や地域と一体となった具体的な取組みを進めます。

- 家庭学習は自分で決めた時刻に始めましょう。
- 宿題・復習・予習などを計画的に行いましょう。
- 「あいさつ」や「外での運動や遊び」などで生活リズムをつくりましょう。

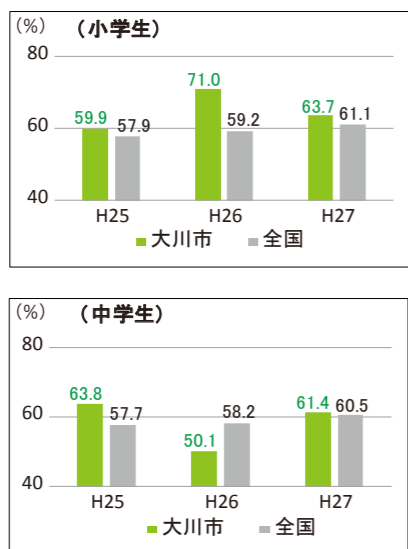


## モックくんが気になったデータ

算数・数学の勉強が好きな割合



国語の勉強が好きな割合



「勉強が好き」って、大切なことだね!!

